

FEC療法

+ 大津赤十字病院 薬剤部

【治療スケジュール】

以下のメニューのおくすりを3週間毎繰り返します。

				← 1クール →	
				第1日目	2~21日
薬剤名	外観	液色	薬効	投与方法	点滴
① パロノセトロンバッグ アロカリス注 デカドロン注		無色	むかつき、吐き気及びお薬の過敏症を抑えます。	↓ 30分・点滴	お休み
② 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 15分・点滴	
③ エピルピシン注 [®] (エピルピシン)		赤色	細胞増殖を抑えます。	↓ 10分・点滴	
④ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 全開・点滴	
⑤ エンドキサン注 [®] (シクロホスファミド)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓ 30分・点滴	
⑥ 5-FU注 [®] (フルオロウラシル)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓ 15分・点滴	
⑦ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 15分・点滴	

※お薬の投与速度・投与間隔が変わることがあります。

※また、症状に応じてお薬を変更・追加・削除することがあります。

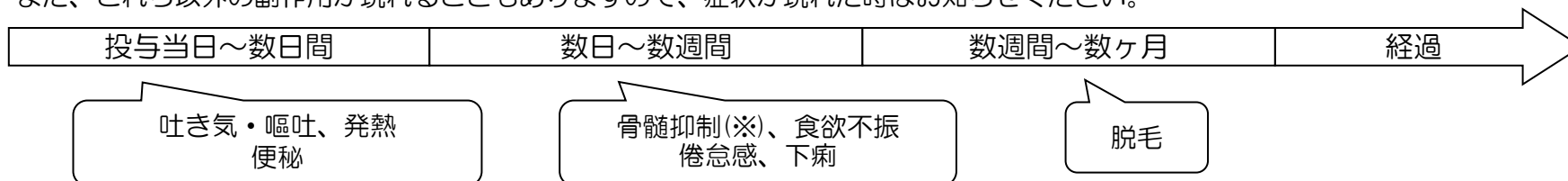
【注意事項】

点滴中は安静にし、注射の針を刺している部分が動かないように心掛けてください。お薬が皮膚に漏れると、針を刺している部分に違和感や痛み、腫れ、赤み等が現れることがあります。このような症状がありましたら速やかにお知らせください。
また、このような症状は点滴終了後や、しばらくたってから起こることがありますのでご注意ください。

エピルピシン注を点滴した後の初めの尿が赤くなるがありますが、お薬の性質によるものですので問題ありません。
ただし、赤みを帯びた尿が続くようでしたら、速やかにお知らせください。

【副作用と発現時期】

ここにはあくまで一般的に予想される副作用が、いつごろ現れるかをお示ししています。これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。また、これら以外の副作用が現れることもありますので、症状が現れた時はお知らせください。



※骨髄は、血液成分である白血球・赤血球・血小板等を産生する臓器です。骨髄抑制とは、その機能が低下することを言います。

【注意が必要な副作用】

頻度は高くありませんが、次に示すような副作用が報告されています。下記の症状が現れた時は医師または薬剤師へお知らせください。

- 骨髄抑制 : ★38℃以上の発熱、咳、下痢、排尿痛・残尿感、性器痛、肛門痛、鼻血、血便・血尿、歯茎出血、腕や足の赤い斑点、疲れやすい、めまい・息切れ
- 過敏症 : ★呼吸困難、じん麻疹、眼および口の周囲の腫れ、冷汗、頻脈
- 消化器症状 : ★突然の激しい腹痛、背部痛、重度の下痢、脱水症状、もたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振
- 心障害 : ★呼吸困難、足などのむくみ、咳の増加、胸痛、みぞおちや頸部の締め付け、圧迫感、冷汗
- 腎障害 : ★顔・手足などのむくみ、尿量減少、尿が赤みを帯びる、体重減少、口の渇き、高度の蛋白尿
- 肝障害 : ★全身倦怠感、食欲不振、疲れやすい、腹部不快感、黄疸(皮膚や眼などが黄色くなる)
- 皮膚障害 : ★中央に浮腫を伴った発疹、まぶた・眼球結膜の充血、口腔内の痛みを伴った粘膜疹
- 脳障害 : ★突然の激しい頭痛、意識障害、歩行時のふらつき、四肢末端のしびれ感、舌のもつれ、うまく話せない、けいれん発作、精神状態変化、視覚異常
- 肺障害 : ★胸痛、意識障害、呼吸困難、(空)咳、発汗、発熱、ピンク色の痰がでる、尿量減少、むくみ
- 臭覚障害 : ★臭いが感じにくくなる
- 手足症候群 : ★手のひらや足の裏がぴりぴりする、指先の感覚異常、皮膚や爪の変色
- 出血性膀胱炎、排尿障害 : ★排尿時の痛み、残尿感、頻尿、赤色尿、発熱
- 抗利尿ホルモン不適合分泌不全 : ★全身倦怠感、無気力、眠気、意識障害、昏睡
- 下痢・脱水 : ★口の渇き、手足のふるえ、過呼吸、重度の下痢、意識障害(時に昏睡)
- 出血 : ★口から血を吐く、血便、鼻血や歯肉、膣からの出血

連絡先 大津赤十字病院

Tel 077-522-4131

平日8:30 ~ 17:00 受診されている診療科

平日17:00 ~ 翌8:30 及び休日 救急外来